

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 4年 10月 10日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3491100289		
法人名	株式会社アーバン・ケア		
事業所名	グループホーム なでしこ		
所在地	尾道市吉和町5 1 2 2 - 1 (電話) 0 8 4 8 - 2 5 - 2 7 7 2		
自己評価作成日	令和3年8月15日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3491100289-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年10月6日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

入居者さんの生活歴をもとに会話を深めて職員との信頼関係を築き、同時にご家族との関係性も保てるよう密な連絡を心掛けています。また、職員も定着しているので日々顔馴染みの支援ができてると自負しています。入居者さんに体調変化があった場合にはかかりつけ医と連絡を取り合い、何かあればすぐに対応できるような体制作りも心掛けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

最近の事業所の特徴的な取組みは第一に「馴染みの人や場との関係継続の支援」がある。コロナ禍で面会自粛の中、予約制ながら窓越し面会やオンライン面会によって利用者の約7割が再会でき、更に看取りの利用者とは脚立に上って窓越し面会や海外の家族とは遠隔で面談できるZoom（リモート）の活用等、馴染みの関係継続に努めている。第二に「災害対策」について、事業所はコロナ禍前は近隣の同種事業所や地域住民が参加した訓練で実際に車椅子を使用した避難誘導を行っている。当該事業所とは災害時には相互に避難場所とする等、地域との協力体制もあり、BCP（災害時の事業継続計画）も策定している。第三に「事業所と地域とのつきあい」について、地域住民に貸し出した畑を通じた交流や敷地入口の掲示板のコロナワクチン情報に目を止める住民もいる。

自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	玄関ホールと両ユニットフロアの目につく場所に基本理念を掲示している。	基本理念は事業所内に掲示し、実践上の立ち返るべき原点として位置付けている。各職員は理念に沿った年間目標を策定し、全職員の目標一覧を1月に各職員に配布、共有している。職員は半期毎に所長と面談し目標の達成度を検証している。事業所理念の達成度の検証は今後の課題としている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入して敬老会や共同清掃などの行事に参加しているが、ここ2年余りは新型コロナウイルス感染流行のため町内の行事は中止となっている。	町内会に加入しており、コロナ禍前は地域清掃やとんど祭り・敬老会等の地域行事に参加・協力したり、近所の保育園児との世代間交流もあった。又、地域住民に貸し出した畑から採れた野菜の提供を受けることもある。敷地入口の掲示板のコロナワクチン情報に目を止める住民もいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	敷地入口に掲示板を設置し、施設だよりや市町の掲示物を貼り出して地域に向けての情報発信をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	新型コロナウイルス感染流行の前は、隔月ごとに入居者ご家族や民生委員・包括支援センターご担当者等に声をかけて運営推進会議を開催していたが、ここ2年あまりは開催できていない。	以前は家族・町内会会長・民生委員・地域包括支援センター職員等が参加して開かれていた。最近は法人系列3事業所間のリモート合同会議となっている。開催議事録は担当課に持参し情報共有を図っている。事業所ではコロナ禍でもより効果的な会議とすべく運営に取り組んでいる。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	負傷など病院受診が伴った事故が発生したら、遅滞なく市町担当者(及びご家族)に事故報告書を提出している。また、施設運営上の疑問や質問があれば適宜問い合わせを行っている。	運営推進会議議事録は担当課に持参し、情報共有を図っている。市町担当者とは日頃から運営に関する相談や報告、行政主催の研修会へのオンライン参加等で協力関係の構築に努めている。又、コロナ禍以前は管理者は地域ケア会議にも参加し、地域課題の解決に向けて協力していた。	

自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月末に開催しているスタッフ会議の前に身体拘束を含めた権利擁護に関するミニ研修会を開催している。	身体拘束廃止に関する指針を策定し、研修会等を通して職員は「拘束をしない」必要性を認識している。特に新人職員にはその場で指導する等、現場で実践を重ねている。玄関は見守り同行以外、施錠し、夜間に赤外線離床センサー等を設置している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	外部で開催されている虐待に関する研修に参加するよう努めている。	/	/
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	後見制度に携わっている職員から、必要に応じて制度の仕組みを説明している。また、後見人が就任している入居希望者がいれば、積極的に入居を進める体制を整えている。	/	/
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	本契約時は勿論、入居後も契約内容に疑問や質問があれば随時受け付ける体制を整えている。	/	/
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関ホールに苦情受付箱を設置しているほか、電話や口頭でも直接ご家族の声を聞くよう心掛けている。	家族の要望は面会・電話連絡・意見箱等を介して把握し、それを職員は申し送り等で共有して迅速な対応に努めている。現在はコロナ禍で面会自粛だが、家族から利用者の笑顔や食事風景が見たいという要望に対し、ガラス越し面会やSNS(ライン)動画での再会に繋げた経緯がある。	

自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月開催している職員ミーティングで職員の意見や苦情を聞き取り、その対策をその場で検討している。</p>	<p>毎月の職員会議、随時又は半年毎の個別面談等を通し、管理者又は所長は職員の意見を聞く機会を設け介護方法・業務上の提案に対する支援体制を採っている。職員提案により、コロナ危険手当の創設や感染時の隔離空間の設定等、コロナ禍における職場環境の整備にも取り組んでいる。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>緊急時でもない限りは定時に退社できるよう業務内容を検討しており、残業や休日出勤の際には法で定められた賃金を滞りなく支払っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>外部で開催される研修に参加を希望する職員に対して旅費や受講料は法人が負担し、受講当日は出勤扱いとしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>近隣の同業施設(にしごこの家さん)と、お互い緊急時の避難先として連携を取っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>個人情報の扱いには十分な配慮を心掛けながら可能な範囲でご本人の生活歴を集め、サービス利用に至るまでの経緯を理解した上でご本人の主訴にを傾聴するよう心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>身内を施設入所させる事に罪悪感を抱いているご家族に対して、同様の経験をした事がある職員が親身になってかかわっている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居時に生活歴やご本人、ご家族の主訴を聞き取る書式を用意し、必要な支援を検討する根拠を可視化している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>個人差はあるが、可能な入居者さんには洗濯物たたみや調理の下ごしらえなどの家事を職員と一緒にしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>施設だよりも日々の様子を伝えたり、体調不良時には必要に応じて主治医との面談の場を設けて、ご家族にも参加をお願いしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>新型コロナウイルス感染のため、ご本人は外出したり外部からの訪問者との面談は中止しているが、電話やWebなどの手段で面会の場を確保している。</p>	<p>コロナ禍で面会自粛の中、予約制ながらガラス越し面会やオンライン面会によって利用者の約7割が再会可能となり、利用者・家族の気持ちに寄り添った支援をしている。海外の家族と遠隔で面談できるZoom(リモート)の活用や手紙・電話を介した馴染みの関係継続に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	席の配置を工夫し、利用者同士が気軽に会話ができるような環境づくりを心掛けている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	施設内で看取りを行った方のほか、ご退居後にお亡くなりとなった入居者さんの葬儀にも極力参列をしている。お亡くなり後のご家族には、その後の運営推進会議に参加をお願いしてグリーフケアを行った実績もある。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	言語によるその場の直接的な言葉以外に、日頃の会話の内容からもご本人の思いや意向を察するよう心掛けるよう指導している。	利用開始時に独自の様式にて利用者の年代毎に分けたそれぞれの時期の暮らし方や出来事を記載した人生史でその方の背景を理解するよう努めている。それをもとに職員は利用者と一緒に話す中で深く関わりを持ち、思いを汲み取って介護計画に反映する等、思いの共有に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時にご本人をはじめ、親族やそれまでかかわっていた支援者から可能な範囲でご本人の生活歴の情報を集めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個人ごとの日課表を作って、日々の様子やご本人の言動などを記録している。		

自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	アセスメントをケアマネだけではなく担当職員にも作成させ、必要に応じてご家族からの情報集めもしてもらう事で、単に身体介助のみのかかわりで終始しないよう心掛けている。	担当職員も参加した情報収集から計画作成担当者が立案しケア会議で検討して家族の同意のもと、本案としている。半年を基本にモニタリング・計画の見直しを行っている。「急に～しないで下さい」という利用者の声等、家族が知りたい情報を分かりやすい文面で策定するよう努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	生活の中で、行動や言動の変化があれば詳細に記録している。日々の申し送りや職員会議の場で共有できるように努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	心情面ではご家族や親族、身体面では医療機関に変化の様子を伝え、必要に応じたサービス利用ができるよう心掛けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	町内会で開催される敬老会や行事には先方からお声をかけて下さるようになっており、参加が可能な入居者さんに出向いてもらっているが、ここ2年は新型コロナウイルス感染流行で中止となっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご本人やご家族に希望があれば、入居前からの馴染みある医師の診断を継続してもらうよう働きかけている。	訪問診療が可能であれば利用前の主治医の継続も可能であり、その他は協力医を主治医としている。協力医から月1～2回の訪問診療を受けている。非常勤の看護師の配置もあり、健康管理等、適切な医療を受けられる体制を整えている。	

自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	非常勤の看護師職員に、記録類を参考に入居者さん方の日々の様子や特変事項を伝えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、医療職が必要とするであろうバイタル表や介護サマリーなどを手渡して、スムーズな入院治療が開始できるよう配慮し、その後の経過や退院に関する情報の授受も随時受け付けている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に重度化した場合や終末期の対応について説明しているが、実際に重度化や終末期が近づいた時点で、改めてご家族(本人)の意向をもとに、ご家族、かかりつけ医、施設の三者で話し合いを行っている。	契約時に「重度化した場合・看取りに係る指針」を説明し、了承を得ている。重度化した際には関係者で話し合いを行い「対応指針」に基づき適切な支援を行っている。大半が看取り対応であり、居室の扉を開けてラジカセから好きな民謡を流したり、空が見えるよう穏やかな日常に配慮している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	基本的な緊急マニュアルは作成しているが、必要があれば個別のケアに即した緊急時のマニュアルを作成している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に消防防災・避難訓練を実施しているほか、近隣の同業施設(にしぎこの家)とお互いに緊急時の避難先となるよう提携している。	消防署指導のもと、夜間想定避難訓練も行っている。コロナ禍前は近隣の同業事業所や地域住民が参加した訓練で実際に車椅子を使用した避難誘導を行っている。当該事業所とは災害時には相互に避難場所とする等、協力体制を築いている。BCP(災害時の事業継続計画)も策定している。	

自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	慣れから来る言葉遣いの乱れが見え始める都度、職員に注意喚起をしている。	研修で職員の幅広い知識の習得と資質向上を図っている。尊厳に配慮してケアに関わり、利用者への言葉かけも管理者自らが範を示すことで職員に気づきを促している。利用者に対する対応についてアンケートを実施し、職員自身の行動を振り返り、ケアの見直しに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の意見を自己決定して頂けるよう、開かれた質問をするように心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	基本的な日課の流れはあるが、極力本人がしたいことを優先するように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	衣類は毎日洗濯をするほか、自己決定が可能な方にはその日に着る服を自身で選んでもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	新型コロナウイルス感染感染流行の影響で現在は自炊を中断しているが、食の薄い入居者さんには個々に合わせた別メニューを用意している。	コロナ禍のため外部業者からの宅配食にご飯と汁物を添え提供している。魚嫌いの人には肉に替えたり、誕生日には赤飯を提供し、天気が良ければウッドデッキでの昼食や菜園の夏野菜を利用する等、楽しみとなる工夫もある。感染対策を施した上、利用者は盆拭き等の手伝いをしている。	

自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事や水分の摂取量を記録に残して、職員全員がその状況を把握できるよう努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後は必ず歯磨きを行い、現在は新型コロナウイルス感染防止で中止しているが、歯科衛生士による定期的な口腔ケアを受けてもらっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	自らトイレに行けない方には定期的なトイレ誘導を行い、排泄の状況は記録に残して下剤服用のタイミングを検討している。	排泄記録表で排泄パターンを把握しトイレ誘導を基本としている。便座に座って特殊な手すりに寄りかかり腹部に力を入れ自力で排便し易くする工夫や退院時の紙おむつから紙パンツへの移行例等の自立支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分摂取の声掛けや摂取が困難な方には、嗜好にあった飲み物を提供したり、水分の多い果物を提供している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	職員の勤務時間の関係もあって1日3名の入浴が限度であるが、排便の失敗などがあれば時間を問わずシャワー浴なども行っている。	三日に一度の午後浴が基本だが、利用者の体調や入浴習慣に合わせて好みの湯温や時間等、柔軟に対応している。利用者の状態によりシャワー浴や足浴で対応している。冬至に柚子湯の提供や冬場の浴室内の保温やお風呂に消極的な利用者には声掛けの工夫等行っている。	

自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	夜間の睡眠に影響がない限り、 体力やご本人の要望に応じて居 室で臥床して頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	処方内容に変化がある都度、別 途用意している個人ごとの医療 記録に詳細を記入して職員間に 周知している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	入居時に伺った生活歴を把握し 、塗り絵や読書などを楽しんで いただけるように努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。	現在は新型コロナウイルス感染防 止のため外出支援は中止してい るが、それ以前はご本人やご家 族に希望があれば墓参りや一時 帰宅の支援を行う体制をつくっ ている。	コロナ禍で外出は自粛中だが、 天候が良ければ近隣の散歩や 季節行事としてお花見・紅葉狩 りドライブ等、普段は行けない ような場所で「非日常」を楽し んでいる。久しぶりの外出に利 用者から「下界に降りた」「昔 この店に行っていた」等の声も 聞いている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	ご本人が望まれたら、紛失など がないよう職員が金額の詳細を 確認したうえで現金入りの財布 を自己管理して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(虹ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	要望があれば施設の固定電話から自由に電話して頂いている。また、親族や知人からの手紙は直接お渡しして可能な方には自身で開封してもらっている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビング内で薄暗い場所には別途照明を設置したり、トイレには流水レバーの場所を写真でわかりやすく掲示している。	利用者が落ち着いて過ごせるように事業所全体を木のぬくもりのある和の設えで統一し、高い吹き抜けから開放感や明るい光が差し込んでいる。利用者に季節を感じてもらえるように季節の花を飾り、その季節に合った行事の飾り付けをしている。又、トイレに特殊な手すり等の環境整備もある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	玄関・居室・対面のユニットなどには自由に行き来してもらっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人が自宅で使用していたもの(置時計、ラジオ、仏壇など)を持ち込んで頂いたり、昔の写真や施設内で撮影した写真を掲示している。	居室にはベッド・整理タンス等が備え付けられ、仏壇等、使い慣れた物や好みの物を持ち込み居心地よく過ごせる様にしている。又、利用者の昔の写真を拡大して壁に貼り、その方と歴史を共有したり、床に組み合わせマットを敷き詰める等、取り組んでいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	歯ブラシ置き場、洗面所のタオル掛けに個人名を書いて各自で出し入れして頂いている。		

V アウトカム項目(虹ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	●	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	●	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	●	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	●	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input checked="" type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	●	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input checked="" type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input checked="" type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input checked="" type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input checked="" type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(星ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	玄関ホールと両ユニットフロアの目につく場所に基本理念を掲示している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入して敬老会や共同清掃などの行事に参加しているが、ここ2年余りは新型コロナウイルス感染流行のため町内の行事は中止となっている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	敷地入口に掲示板を設置し、施設だよりや市町の掲示物を貼り出して地域に向けての情報発信をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	新型コロナウイルス感染流行の前は、隔月ごとに入居者ご家族や民生委員・包括支援センターご担当者等に声をかけて運営推進会議を開催していたが、ここ2年あまりは開催できていない。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	負傷など病院受診が伴った事故が発生したら、遅滞なく市町担当者（及びご家族）に事故報告書を提出している。また、施設運営上の疑問や質問があれば適宜問い合わせを行っている。		

自己評価	外部評価	項目(星ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月末に開催しているスタッフ会議の前に身体拘束を含めた権利擁護に関するミニ研修会を開催している。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>外部で開催されている虐待に関する研修に参加するよう努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>後見制度に携わっている職員から、必要に応じて制度の仕組みを説明している。また、後見人が就任している入居希望者がいれば、積極的に入居を進める体制を整えている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>本契約時は勿論、入居後も契約内容に疑問や質問があれば随時受け付ける体制を整えている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関ホールに苦情受付箱を設置しているほか、電話や口頭でも直接ご家族の声を聞くよう心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(星ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月開催している職員ミーティングで職員の意見や苦情を聞き取り、その対策をその場で検討している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>緊急時でもない限りは定時に退社できるよう業務内容を検討しており、残業や休日出勤の際には法で定められた賃金を滞りなく支払っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>外部で開催される研修に参加を希望する職員に対して旅費や受講料は法人が負担し、受講当日は出勤扱いとしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>近隣の同業施設（にしごこの家さん）と、お互い緊急時の避難先として連携を取っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>個人情報の扱いには十分な配慮を心掛けながら可能な範囲でご本人の生活歴を集め、サービス利用に至るまでの経緯を理解した上でご本人の主訴にを傾聴するよう心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(星ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	身内を施設入所させる事に罪悪感を抱いているご家族に対して、同様の経験をした事がある職員が親身になってかかわっている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居時に生活歴やご本人、ご家族の主訴を聞き取る書式を用意し、必要な支援を検討する根拠を可視化している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	個人差はあるが、可能な入居者さんには洗濯物たたみや調理の下ごしらえなどの家事を職員と一緒にやっている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	施設だよりに日々の様子を伝えたり、体調不良時には必要に応じて主治医との面談の場を設けて、ご家族にも参加をお願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	新型コロナウイルス感染のため、ご本人は外出したり外部からの訪問者との面談は中止しているが、電話やWebなどの手段で面会の場を確保している。		

自己評価	外部評価	項 目(星ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	席の配置を工夫し、利用者同士が気軽に会話ができるような環境づくりを心掛けている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	施設内で看取りを行った方のほか、ご退居後にお亡くなりとなった入居者さんの葬儀にも極力参列をしている。お亡くなり後のご家族には、その後の運営推進会議に参加をお願いしてグリーフケアを行ったした実績もある。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	言語によるその場の直接的な言葉以外に、日頃の会話の内容からもご本人の思いや意向を察するよう心掛けるよう指導している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時にご本人をはじめ、親族やそれまでかかっていた支援者から可能な範囲でご本人の生活歴の情報を集めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個人ごとの日課表を作って、日々の様子やご本人の言動などを記録している。		

自己評価	外部評価	項 目(星ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	アセスメントをケアマネだけではなく担当職員にも作成させ、必要に応じてご家族からの情報集めもしてもらう事で、単に身体介助のみのかかわりで終了しないよう心掛けている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	生活の中で、行動や言動の変化があれば詳細に記録している。日々の申し送りや職員会議の場で共有できるように努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	心情面ではご家族や親族、身体面では医療機関に変化の様子を伝え、必要に応じたサービス利用ができるよう心掛けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	町内会で開催される敬老会や行事には先方からお声をかけて下さるようになっており、参加が可能な入居者さんに出向いてもらっているが、ここ2年は新型コロナウイルス感染流行で中止となっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご本人やご家族に希望があれば、入居前からの馴染みある医師の診断を継続してもらうよう働きかけている。		

自己評価	外部評価	項 目(星ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	非常勤の看護師職員に、記録類を参考に入居者さん方の日々の様子や特変事項を伝えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、医療職が必要とするであろうバイタル表や介護サマリーなどを手渡して、スムーズな入院治療が開始できるよう配慮し、その後の経過や退院に関する情報の授受も随時受け付けている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に重度化した場合や終末期の対応について説明しているが、実際に重度化や終末期が近づいた時点で、改めてご家族（本人）の意向をもとに、ご家族、かかりつけ医、施設の三者で話し合いを行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	基本的な緊急マニュアルは作成しているが、必要があれば個別のケアに即した緊急時のマニュアルを作成している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に消防防災・避難訓練を実施しているほか、近隣の同業施設（にしぎこの家）とお互いに緊急時の避難先となるよう提携している。		

自己評価	外部評価	項目(星ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	慣れから来る言葉遣いの乱れが見え始める都度、職員に注意喚起をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の意見を自己決定して頂けるよう、開かれた質問をするように心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	基本的な日課の流れはあるが、極力本人がしたいことを優先するように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	衣類は毎日洗濯をするほか、自己決定が可能な方にはその日に着る服を自身で選んでもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	新型コロナウイルス感染感染流行の影響で現在は自炊を中断しているが、食の薄い入居者さんには個々に合わせた別メニューを用意している。		

自己評価	外部評価	項 目(星ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	食事や水分の摂取量を記録に残して、職員全員がその状況を把握できるよう努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後は必ず歯磨きを行い、現在は新型コロナウイルス感染防止で中止しているが、歯科衛生士による定期的な口腔ケアを受けてもらっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	自らトイレに行けない方には定期的なトイレ誘導を行い、排泄の状況は記録に残して下剤服用のタイミングを検討している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分摂取の声掛けや摂取が困難な方には、嗜好にあった飲み物を提供したり、水分の多い果物を提供している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	職員の勤務時間の関係もあって1日3名の入浴が限度であるが、排便の失敗などがあれば時間を問わずシャワー浴なども行っている。		

自己 評価	外部 評価	項 目(星ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	夜間の睡眠に影響がない限り、 体力やご本人の要望に応じて居 室で臥床して頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	処方内容に変化がある都度、別 途用意している個人ごとの医療 記録に詳細を記入して職員間に 周知している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	入居時に伺った生活歴を把握し 、塗り絵や読書などを楽しんで いただけるように努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	現在は新型コロナウイルス感染防 止のため外出支援は中止してい るが、それ以前はご本人やご家 族に希望があれば墓参りや一時 帰宅の支援を行う体制をつくっ ている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	ご本人が望まれたら、紛失など がないよう職員が金額の詳細を 確認したうえで現金入りの財布 を自己管理して頂いている。		

自己評価	外部評価	項 目(星ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>要望があれば施設の固定電話から自由に電話して頂いている。また、親族や知人からの手紙は直接お渡しして可能な方には自身で開封してもらっている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>リビング内で薄暗い場所には別途を設置したり、トイレには流水レバーの場所を写真でわかりやすく掲示している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>玄関・居室・対面のユニットなどには自由に行き来してもらっている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人が自宅で使用していたもの(置時計、ラジオ、仏壇など)を持ち込んで頂いたり、昔の写真や施設内で撮影した写真を掲示している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>歯ブラシ置き場、洗面所のタオル掛けに個人名を書いて各自で出し入れして頂いている。</p>		

V アウトカム項目(星ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	●	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	●	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	●	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	●	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	●	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input checked="" type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	●	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input checked="" type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input checked="" type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input checked="" type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	●	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input checked="" type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームなでしこ

作成日 令和4年1月21日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	8	虐待について職員によって認識や理解に差異がある。	法律に基づいた虐待に関する研修を行い職員の見解を統一する。	年間をとおして定期的・計画的な研修会を開催する。	1年間
2	1	外出支援が全く行えていない。	入居者さん個々にあわせた外出を行う。	敷地外の外出が無理な方でも、敷地内やテラスには出て頂く。	1年間
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。